



かつなりくん

かりや市議会 だより

〈第134号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～

市民の安心安全に重点をおいた

平成28年度予算を可決 総額約888億円

市民が愛着と誇りをもてるまち

元気で幸せを実感できるまちをめざして

平成28年3月25日

「みなくる広場」がリニューアルオープン♪♪

火気類の使用や飲食物の取扱いも可能。夏にはビアガーデンの企画も
ご利用に関するお問合せは土木管理課へ0566-62-1018



未来へ羽ばたく刈谷をイメージした屋根と、色彩豊かな
光の演出で、刈谷の玄関口を華やかに飾ります

点灯時間：日没から午後10時までの10分間隔
※クリスマス、年末年始は深夜0時まで点灯

主な記事	ページ
28年度予算	2～3
主な議案	4
委員会の動き	4
議決結果	5
質問質疑	6～8

3月定例会のあらまし

この定例会は2月18日に招集され、会期35日間で
3月23日に閉会しました。
今回は議案など37件が提出されました。

◆3月2～3日、7日 本会議
（質問・質疑）
19人の議員が46項目にわたり、
一般質問と平成28年度予算の質
疑を行いました。

◆7日 予算審査特別委員会
予算議案の審査のため、分科
会を設置し審査することにし
ました。

◆9日～11日、14日 委員会、
分科会
議案が審査され、委員会や分
科会での採決が行われました。

◆22日 予算審査特別委員会
分科会での審査の経過と結果
が報告され、予算議案の採決が
行われました。

◆23日 本会議（採決）
各委員長より、委員会での審
査の経過と結果が報告されまし
た。一部の議案について反対意
見がありました。いずれも原
案のとおり可決されました。
3月議会を通しての傍聴者は
延べ98人です。

★傍聴をお待ちしています★

* 6月定例会の開催予定*

- 5月27日（金）議会運営委員会（運営を協議）
- 6月9日（木）本会議（開会、一般質問など）
- 10日（金）本会議（一般質問）
- 13日（月）本会議（一般質問、議案説明）
予算審査特別委員会
- 15日（水）企画総務委員会
- 16日（木）福祉産業委員会
- 17日（金）建設委員会
- 20日（月）市民文教委員会
- 24日（金）予算審査特別委員会
議会運営委員会（運営を協議）
- 27日（月）本会議（採決など）

各会議は10時から17時まで（進行状況などにより、変更する場合があります）。傍聴の際は当日次の受付へ。
本会議：市役所10階、傍聴受付
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ（生後6か月以上の未就学児、先着順）
傍聴の際、臨時保育室「カンガルールーム」をご利用できます。
傍聴希望日の3日前までに議会事務局へご連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ
傍聴の際、手話通訳者等派遣事業をご利用できます。傍聴希望日の1週間前までに福祉総務課（TEL 62-1208・FAX 24-3481）までご相談ください。

一般質問KATCH放映（106チャンネル）
6月15日（水）、17日（金）、21日（火）でいずれも18時から。
詳しくはチャンネルガイドをごらんください。



**市民の安心安全が施策の中心
総額888億3千100万円を可決
—予算審査特別委員会のあらまし—**

平成28年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。一部の予算に反対意見がありましたでしたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市長にその方針を問いました。本会議での質問・質疑については、6～8ページの「質問質疑」をご参照ください。

分科会・委員会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計3議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、刈谷城築城は「拙速な事業であるため白紙撤回を求め」との反対討論、「市民からの要望を受けた事業、歴史と文化は定住・交流人口を増やす地方創生に求められる事業、28年度予算は教育費・民生費などが前年より伸び、子ども・子育て・社会的弱者などに配慮が行き届いたバランスの良い予算である」との賛成討論の後、採決した結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

ふるさと納税者への返礼品
〔問〕返礼品を設定する目的は。
〔答〕刈谷のことを知っていただき、刈谷に関心を持っていただくためのシティセールスの一環として実施する。
〔問〕どのようなものを予定しているのか。
〔答〕寄附金控除の適用を受けない自己負担分2,000円程度のもので、刈谷ハイウェイオアシス、夢と学びの科学体験館、交通児童遊園などの施設利用券や、かつなりくんグッズなどを予定している。



遊具利用券の設定も

特殊詐欺被害対策

〔問〕特殊詐欺被害の状況は。
〔答〕振り込め詐欺の被害状況は、平成27年は9件で被害額が約4,300万円。なお、9件中8件がオレオレ詐欺である。
〔問〕電話の自動録音機能などが各社から販売されている中で、今回の自動通話録音機を選定した理由は。
〔答〕高齢の方を対象とした事

業であるため、現在の利用形態を変える必要のない、既設の電話機に接続するタイプのものを考えている。

住民票等のコンビニ交付

〔問〕コンビニ交付の開始が早まり、平成29年2月からとなる理由は。
〔答〕マイナンバー制度が始まり、個人番号カードの活用に期待が高まっていること。また、システム上の調整も可能になったことから早期に導入することとした。

個人番号カードの申請件数と交付枚数は

〔答〕2月末現在の申請件数は9,348件で、交付枚数は1,349枚である。
〔問〕セキュリティは大丈夫か。
〔答〕一般のネット環境から遮断された専用回線を使用し、通信内容を全て暗号化するなど万全なセキュリティ体制がとられている。
〔問〕コンビニでの発行手数料は。
〔答〕市役所での窓口交付と同額としたい。

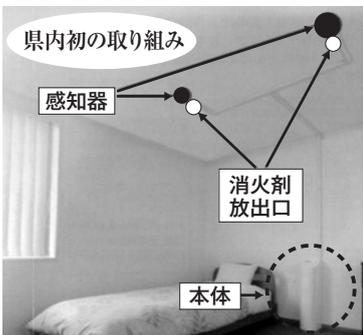
避難所看板の更新

〔問〕更新の目的は。
〔答〕避難施設ごとに対応可能な災害種別を表示するとともに、外国の方にも理解しやすい看板に順次更新するものである。
〔問〕更新後のイメージ

更新後のイメージ

福祉経済

障害者・高齢者住宅用消火設備設置費助成
〔問〕火災時の消火設備の使用方法和、訓練方法は。
〔答〕助成する住宅用消火設備は、電池式で、温度の変化で火災を自動感知する。警報音を鳴らした後、自動で薬剤を放射し消火するものであるため、訓練の必要はない。



消火設備設置のイメージ

県内初の取り組み

〔仮称〕刈谷ステップ保育園
〔問〕北部地域に休日保育を実施している園がない状況の中で、新設園が北部方面に設置される。休日保育の拠点園とする考えはあるか。
〔答〕休日保育を実施することが望ましいと考えているため、法人と協議を行っている。

不妊治療費助成
〔問〕現在までの実績と不妊治療をしたことにより、妊娠に至った人の人数はどのようになっているか。
〔答〕申請者数は、平成26年度は335人で、妊娠に至った人の人数は、77人となっている。

認可外保育所利用補助

〔問〕平成27年度にさくら保育園を整備し、75名の定員増が図られたが、それでも予算が増えているのはなぜか。
〔答〕今年度から保育園への入園条件が緩和されたこともあ

り、認可外保育所の補助金の対象となる利用者が平成26年度に比べ約2倍となった。平成28年度予算は、その実績も考慮して予算編成をしたため、予算額が増加している。

建設水道

水道検査業務委託

〔問〕水道法によると、水質検査の結果や水道水の安全に関する情報を提供しなければならぬとあるが取り組みは。
〔答〕水質検査計画と水質検査の結果は、本市のホームページにて公表している。また、水の館アクアルームかりやでは、見学を通して、水質や衛生に関する管理工程を見たいだけ、水道水が安全であることの周知を図っている。



水質や衛生に関する管理工程も見学できる
(西境町：浄水管理事務所内)

公園等整備事業

〔問〕犬ヶ坪公園と高須広場の整備工事費、(仮称)井ヶ谷公園の実設計費が計上されているが、事業の内容は。
〔答〕犬ヶ坪公園は、約2,200平方メートルの敷地に園路、広場、ブランコ等の遊具、東屋、トイレなどの設置を計画している。高須広場は、約600平方メートルの敷地に、広場やブランコの遊具等の設置を計画している。(仮称)井ヶ谷公園は、約2,600平方メートルの敷地に整備を

計画しており、現況測量や実設計などを行う予定で、土地の所有者と調整を行っている。

文教

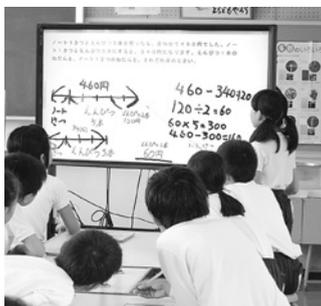
ホームタウンパートナー事業

〔問〕市民とのふれあいイベントの開催は。
〔答〕スポーツ教室の開催や、ホームゲームの観戦機会の提供などがある。選手のイベント等の参加はチームとの連絡会議の中でより一層の協力を要請していきたい。

ICT教育事業

〔問〕経費の具体的な内容は。
〔答〕各小学校に1台導入し活用している電子黒板の保守管理委託料とリース料である。
〔問〕事業の効果は。
〔答〕教員と児童との学習内容の共有が行われ、児童の学習意欲、思考力、判断力の向上につながるかと考えられる。また、板書時間など時間の削減という教員の負担軽減といった効果も期待できる一方、使い方の習得など授業に臨むための準備に当たっては、負担が増加することも考えられる。

〔問〕タブレットPC導入時期は。
〔答〕教員と児童生徒それぞれの視点でメリット・デメリットを考慮しながら方向性を検討していく。



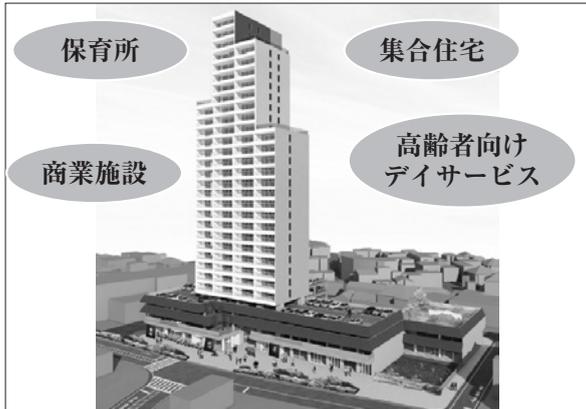
小学校で導入、活用されている電子黒板

平成28年度予算に見る主要事業

都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆市内の空家状況を把握するとともに利活用を含めた対応策を検討。
- ◆刈谷城復元整備の実施設計、歴史博物館の整備に向けた検討などを実施。
- ◆民間活力を活用した保育所、集合住宅などを備えた複合施設を整備（銀座AB地区）。



銀座AB地区の整備を推進（外観イメージ）

産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆農業従事者、企業、行政などが連携して、地域農産物のブランド化などを推進。
- ◆高校生コマ大戦を開催し、全国から参加する高校生にもものづくりのまち刈谷をアピール。
- ◆市内企業の経営基盤の強化及び人材育成を図り、中小企業の活性化を促進。

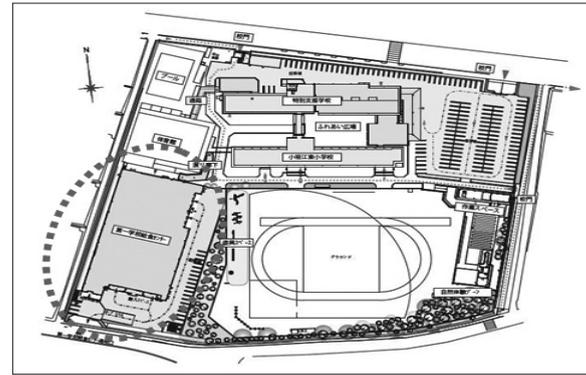


企業人材パワーアップセミナーの様子

教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆老朽化した校舎の大規模改修を行い、児童生徒の教育環境を改善（日高・小垣江小学校、刈谷東・富士松・依佐美中学校）。
- ◆第一学校給食センターを小垣江東小学校内に建て替え、平成30年4月に併設される特別支援学校の給食に対応できる体制を整備。



小垣江東小学校内に併設（第一学校給食センター）

計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ◆刈谷の特産品等をふるさと納税者への返礼品に設定し、本市の魅力を市内外へ発信。
- ◆個人番号カードを利用し、コンビニで住民票などの証明書（住民票、戸籍謄抄本、戸籍の附票、印鑑登録証明書）が取得できる環境を整備。



平成29年2月からコンビニ交付開始！！

コンビニで各種証明書の取得が可能に

福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆住宅用防火設備の設置費用を助成し、寝たきりの高齢者及び重度障害者の安全を確保。
- ◆若い世代からの健康意識の向上や健康づくりを応援するかりや健康マイレージ事業を実施。
- ◆振り込め詐欺などの被害から高齢者を守るため、「自動通話録音機」の購入を支援。



オレオレ詐欺などの被害防止に役（自動通話録音機の購入を支援）

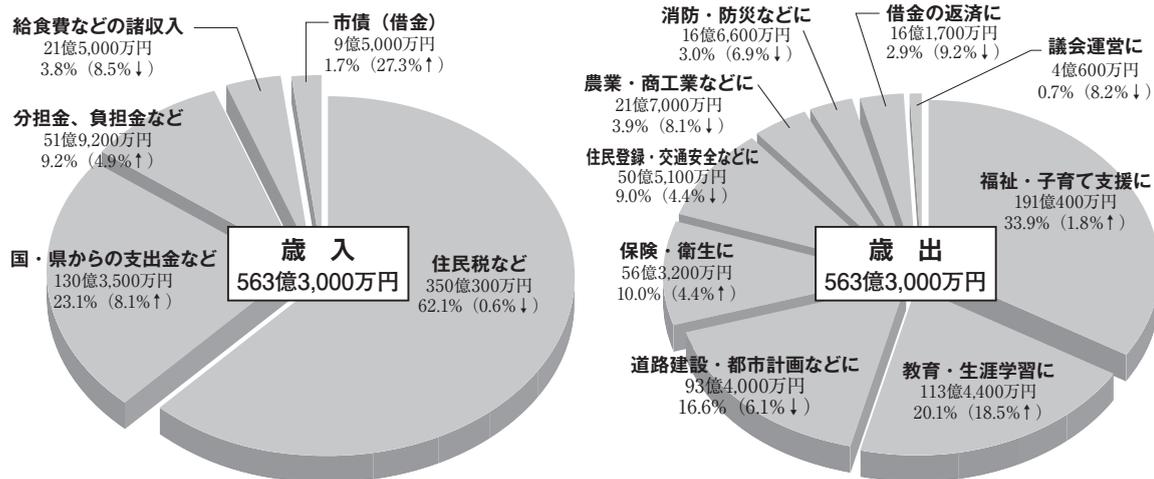
- ◆民間事業者が行う認可保育所の建設や認可保育所への移行を予定している認可外保育所への支援を実施し待機児童の解消を図る。
- ◆防犯灯及び防犯カメラを設置するとともに地域における防犯活動を支援し、まちの安全性を高める。



地域を守るパトロール隊の活動を支援

一般会計の内訳

() 内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
 〈分担金、負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
 〈農業・商工業などの内訳〉農林水産業費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費
 (注) 金額は百万円単位、割合は小数点以下第一位で四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。

28年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	888億3,100万円	8億9,500万円	1.0%
一般会計	563億3,000万円	10億円	1.8%
特別会計	284億円	3,700万円	0.1%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3億8,800万円	7,000万円	22.0%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2,200万円	▲2,200万円	▲15.4%
下水道事業	51億8,100万円	▲6億8,900万円	▲11.7%
国民健康保険	137億5,200万円	1億6,200万円	1.2%
後期高齢者医療	16億1,600万円	1億2,400万円	8.3%
介護保険	73億4,100万円	3億9,200万円	5.6%
企業会計	41億100万円	▲1億4,100万円	▲3.3%
水道事業	41億100万円	▲1億4,100万円	▲3.3%

※百万円単位で四捨五入しています

主な議案 3月 定例会

今回は、刈谷市いじめ問題対策委員会及び刈谷市いじめ問題調査委員会条例の制定についてなどです。(議案の一覧は、次ページの議決結果一覧表を参照ください)

条例議案

■刈谷市いじめ問題対策委員会及び刈谷市いじめ問題調査委員会条例の制定について

いじめ防止対策を推進する専門機関を設置

いじめ問題に迅速に対応

できる組織体制を整備
刈谷市いじめ問題対策委員会等の設置に伴い制定するもので平成28年4月1日から施行します。

【問】いじめ問題対策委員会はどのような役割を担うのか。

【答】いじめ防止のための調査研究、有効な対策の検討を行うほか、重大事態が発生した場合に、児童生徒、教職員にアンケート調査や、聞き取り調査を実施する。

【問】いじめ問題調査委員会はどのような役割を担うのか。

【答】対策委員会の調査結果について、再調査を行い、その結果を踏まえて各学校に対し、「専門家の派遣による重点的な支援」、「生徒指導に専任的に取り組む教職員の配置」などといった措置を講ずる役割を担う。

また、再調査については弁護士や医師、学識経験者といった専門的な知識及び経験を有する者により、公平性、中立性を保った上で実施する。

3月 定例会

■刈谷市議会委員会条例の一部改正について

常任委員会の名称、所管が異なります。

平成28年4月1日から施行
組織機構の改正に伴い、次のとおり改正する。

変更前(現行)	変更後	
委員会名	委員会名	所管
企画総務委員会	企画総務委員会	企画財政部、総務部、生活安全委員会、その他 管理者、選挙管理委員会、所管に属する事項 平任委員会の所管に属しない事項
福祉経済委員会	福祉産業委員会	福祉健康部、長寿保険部、産業環境部、 農業委員会の所管に属する事項
建設水道委員会	建設委員会	建設部、都市政策部、水資源部の所管に 属する事項
文教委員会	市民文教委員会	市民活動部、次世代育成部、教育委員会の 所管に属する事項

が変更箇所です。

■刈谷市都市公園条例の一部改正について

平成29年4月1日から総合運動公園の全域を指定管理に

休日も管理者が常駐し

管理の効率化を推進

刈谷市総合運動公園、逢妻川緑地、逢妻川さくらづつみの指定管理者制度の導入に伴い、改正する。

【問】制度を導入する必要性とは。

【答】ウイングアリーナ刈谷などの体育施設は指定管理者による管理運営がされているが、駐車場等は委託による管理を行っている。このため、駐車場などで発生した事故やトラブルに、体育施設に常駐している指定管理者が対応できない場合がある。これらを解消するため、公園全域に制度を導入し、管理の効率化、利用者の利便性向上を図る。

【問】具体的なメリットは。

【答】利用者の多い休日に現場対応ができる管理者が常駐することで、施設の不具合やトラブル等に迅速に対応できる。その他、刈谷市特別職報酬等審議会の答申や人事院勧告等を鑑みて、議員・特別職等(市長・副市長・教育長)の報酬及び給与等を引き上げる条例改正について、低所得者を中心に市民生活に新たな改善が認められず大変な状況の中、行政運営にかかわる議員及び特別職の給与・報酬の引き上げには反対である、との意見がありました。採決しました結果、原案のとおり可決しました。

に育つよう施策の拡充を求める
陳情 不採択

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の各分科会で審査されました。

3月22日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受け23日の本会議において原案のとおり可決されました。

また、刈谷東中学校改築事業に伴う補正予算案が本会議最終日に上程され原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計) 15億9,424万円

補正後の予算(一般会計) 583億3,363万円

補正後の予算総額(全会計) 912億7,059万円

主な事業
小垣江東小学校の一部を増築し、肢体不自由に特化した特別支援学校を併設する。

6,528万円
※市民の方等から貴重なご寄付をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。

総務管理事業費として 48万2千円

児童福祉事業費として 18万7千円

公園事業費として 200万2千円

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【問】刈谷駅・刈谷市駅周辺のにぎわいに対する構想は。

【答】住んでいる方、商売を行っている方々が主役のまちとなるよう、空き店舗の活用方法なども含めて検討していく。

【問】子育て応援City・刈谷とあるが具体的な取り組みは。

【答】子育て支援に関する施策や子育て世代の定住に向けた情報発信を効果的に実施する。

【問】目指していく都市像は。

【答】若い世代が生涯の居住地として刈谷を選択し、将来に明るい希望を抱くことのできるまちを目指す。

その他「防犯灯の設置基準」「大学への期日前投票所の設置」「法人市民税」などが話し合われました。

福祉経済委員会

子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に対する医療支援

【問】日常生活に支障を生じている方からの相談はあったか。

【答】しびれや脱力、頭痛などの症状について相談があった。

【問】市独自の医療支援の対象になられた方はいるか。

【答】1人に給付金を支給し、1人は支給の準備中である。その他「プレミアム商品券補助事業」「TPP」「認知症」などが話し合われました。

建設水道委員会

亀城公園歴史的建造物等基本設計

【問】本市のイメージは豊田自動車織機をはじめとする近代産業のまちと思われているが、徳川家康の生母・於大の方のゆかりの地であるなど、豊かな歴史と文化をもつまちである。今後、どのように事業をPRしていくのか。

【答】刈谷城の整備に関する検討委員会を公開によって開催し、事業の透明性を図るとともに、刈谷城に関するシンポジウムなどを開催し、積極的にPRを図っていく。

その他「雨水対策マスタープラン」「刈谷駅前線の都市計画決定」「富士松駅南口第2自転車駐車場の都市計画決定」などが話し合われました。

文教委員会

刈谷市教育大綱

【問】本市の小中学校では、夜9時以降に親がスマホを預かる取り組みを実施しているが、効果は。

【答】親子で話し合い、ルールを見直すきっかけとなった。就寝時間が早くなったなど、一定の効果が得られている。この取り組みが一過性のものとならないよう継続して啓発をしていく。

その他「依佐美送信所の登録文化財」「刈谷市立の特別支援学校(肢体不自由)」「学校給食におけるアレルギー対応」などが話し合われました。

陳情の結果

▼「刈谷市民のこころの安定をはかる連絡協議会」設置を求め
陳情 不採択

刈谷市の子どもたちが心豊かな

平日も管理者が常駐し

管理の効率化を推進

刈谷市総合運動公園、逢妻川緑地、逢妻川さくらづつみの指定管理者制度の導入に伴い、改正する。

早川孝昭氏 (3期目)

高松町

■公平委員会委員の選任
平成28年3月31日で任期満了となるので、再び選任することに同意しました。(任期は4年)
はやかわ たかあき

※公平委員会とは、地方公共団体職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するために置かれる機関です。

議決結果一覧表

(※) 賛否が分かれたもの

- ・工事請負契約の額を変更する専決処分について **了承**
- ・刈谷市土地開発公社事業計画等について **了承**
- ・公平委員会委員の選任について **同意**
- 【企画総務委員会関係 9議案】
- ・刈谷市自治基本条例の一部改正について **すべて可決**
- ・行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について(※)
- ・刈谷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について(※)
- ・刈谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について
- ・刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について(※)
- ・特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について(※)
- ・職員給与に関する条例等の一部改正について
- ・刈谷市職員の退職管理に関する条例の制定について
- ・刈谷市行政不服審査会条例の制定について(※)
- 【福祉経済委員会関係 2議案】
- ・刈谷市遺児手当支給条例及び刈谷市母子家庭等医療費支給条例の一部改正について **すべて可決**
- ・刈谷市職員定数条例等の一部改正について(※)
- 【建設水道委員会関係 4議案】
- ・市道路線の認定、廃止及び変更について **すべて可決**
- ・刈谷市道路占用料条例等の一部改正について
- ・刈谷市手数料条例の一部改正について
- ・刈谷市都市公園条例の一部改正について(※)
- 【文教委員会関係 4議案】
- ・刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部改正について(※) **すべて可決**
- ・刈谷市いじめ問題対策委員会及び刈谷市いじめ問題調査委員会条例の制定について(※)
- ・刈谷市スポーツ推進審議会に関する条例の一部改正について(※)
- 【予算審査特別委員会関係 13議案】
- 【平成27年度補正予算】
- ・一般会計補正予算(第5号)(※) **すべて可決**
- ・下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ・介護保険特別会計補正予算(第3号)(※)
- ・一般会計補正予算(第6号)
- 【平成28年度予算】
- ・一般会計予算(※)
- ・刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計予算
- ・刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計予算
- ・下水道事業特別会計予算
- ・国民健康保険特別会計予算
- ・後期高齢者医療特別会計予算(※)
- ・介護保険特別会計予算(※)
- ・水道事業会計予算
- 【議員提出議案 2議案】
- ・地方法人課税の見直しに対する意見書
- ・刈谷市議会委員会条例の一部改正について **すべて可決**

3月定例会提出議案の賛否について

賛否が分かれたものについて掲載します。(○:賛成 ×:反対)

議案名及び議決結果	会派名及び議員名	刈谷真政クラブ				市民クラブ				自民クラブ			公明クラブ		日本共産党議員団		清風クラブ		笑の会		議長	副議長					
		外山 敏一	清水 俊安	鈴木 正人	加藤 廣行	稲垣 雅弘	加藤 峯昭	鈴木 浩二	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	中嶋 祥元	山内 智彦	加藤 賢次	鈴木 絹男	神谷 昌宏	蜂須賀 信明	松永 寿	白土 美恵子	櫻谷 勝			新村 健治	野村 武文	山本 シモ子	上田 昌哉	新海 真規
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市行政不服審査会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市職員定数条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市都市公園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市いじめ問題対策委員会及び刈谷市いじめ問題調査委員会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
刈谷市スポーツ推進審議会に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度刈谷市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度刈谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度予算	一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※全派構成は3月23日時点になります。

地方法人課税の見直しに対する意見書

市町村が、少子高齢化社会への対応、防災対策、社会インフラの老朽化対策等の様々な課題に取り組み、分権型社会の実現に向け、自主的かつ自律的な行財政運営を行っていくためには、地方自主財源の拡充が必要であり、中でも、地方税は地方自主財源の根幹となるものです。

法人住民税の国税化については、これを自治体間の税源の偏在是正の財源とすることは、地方自主財源の拡充を図り、地方分権改革につなげていくという流れに逆行するものであり、かつ、地方の財源不足という根本的な問題の解決にはなりません。にもかかわらず、今回の平成28年度税制改正案では、法人住民税法人税割について、国税化の割合が拡大されており、極めて遺憾であります。

また、愛知県では、法人市町村民税の国税化による税収減が、新たに創設される法人事業税交付金及び地方消費税の引上げによる増収分を上回り、結果として減収となる市町村が複数出てくる見込みであります。

こうした見直しについて、市町村の意見を十分に踏まえることなく、国が一方的に行おうとしていることは極めて遺憾であります。

国におかれては、市町村の実態を把握したうえで、全ての市町村の財政運営等に悪影響が生じないよう、必要な対策を講じられるよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条により意見書を提出します。

平成28年2月18日

刈谷市議会

質問・質疑

市政の動きを問う

この定例会では3月2日・3日・7日の3日間に、19人が登壇し46項目にわたり、市政についてたずねる質問・質疑が行われました。一人二項目を要約し、掲載します。

質問・質疑項目（発言順）※印が掲載した項目です。

- 中嶋 祥元 議員 ※1 施政方針について
- 星野 雅春 議員 ※1 教育行政方針について
- 佐原 充恭 議員 ※1 教育行政方針について
- 佐原 充恭 議員 ※2 平成28年度予算について
- 新海 真規 議員 ※1 インターネットによる公金支払いについて
- 新海 真規 議員 ※2 消防団支援について
- 山本 シモ子 議員 ※1 居住地として選ばれるまちづくりについて
- 山本 シモ子 議員 ※2 18歳選挙権について
- 山本 シモ子 議員 ※3 教科書の選定について
- 山本 シモ子 議員 ※4 「生きる力」について
- 山本 シモ子 議員 ※5 生徒会サミットについて
- 山本 シモ子 議員 ※6 子ども相談センターについて
- 山本 シモ子 議員 ※7 交通児童遊園について
- 野村 武文 議員 ※1 2016年度当初予算案と市長の政治姿勢について
- 野村 武文 議員 ※2 2016年度予算案と教育行政方針について
- 野村 武文 議員 ※3 当初予算案と「住民の福祉の増進」について
- 野村 武文 議員 ※4 当初予算案と生活密着事業の促進について
- 野村 武文 議員 ※5 当初予算案と財政の健全化について
- 稲垣 雅弘 議員 ※1 時代の変化に対応した刈谷市の新たなプラットフォームづくりについて②
- 神谷 昌宏 議員 ※1 施政方針について
- 神谷 昌宏 議員 ※2 教育行政方針について
- 神谷 昌宏 議員 ※3 刈谷市の産業振興施策について
- 神谷 昌宏 議員 ※4 刈谷市の都市計画推進に係る調査事業について
- 蜂須賀 信明 議員 ※1 刈谷市の防災対策について
- 蜂須賀 信明 議員 ※2 刈谷市の都市計画推進に係る調査事業について
- 加藤 峰昭 議員 ※1 平成28年度当初予算について
- 加藤 峰昭 議員 ※2 平成28年度当初予算について
- 上田 昌哉 議員 ※1 刈谷市の財政について
- 上田 昌哉 議員 ※2 刈谷市の観光について
- 鈴木 綱男 議員 ※1 文化振興行政について
- 鈴木 綱男 議員 ※2 野田市民館について
- 鈴木 綱男 議員 ※3 野田新町周辺交通まちづくりについて
- 白土 美恵子 議員 ※1 子ども施策について
- 白土 美恵子 議員 ※2 AED設置の拡充について
- 白土 美恵子 議員 ※3 女性の活躍推進について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像をみる」をクリックしてください。

中嶋 祥元 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)
児童クラブ、病児・病後児保育の拡充を
―事業の拡充について検討していく―

問 児童クラブの定員拡大と開設時間の見直しについてどう考えているのか。

答 定員拡大としては東刈谷児童クラブを整備するなど、まずは4年生までの受け入れに向けた定員拡大を実施していく。開設時間はこれまで保護者の就労状況等を考慮し段階的に拡大してきた。更なる時間延長に

星野 雅春 議員 (主な答弁者・・・都市整備部長)

刈谷城復元整備における史実に基づく復元とは
―発掘調査や城絵図等の分析により石垣や建造物の構造等を確認―

問 歴史的建造物の復元とは、どのような意味であるのか。

答 失われた建造物を当時のように再現することと認識している。

問 柱の寸法などを同時代に建てられた城から類推することは、史実に基づくと云えるのか。

答 可能な限り、史実に基づいた復元を行うための手法であり、城郭復元の分野において、一般的に用いられているものと認識している。

問 記録がなく、史実と照らし合わせることが難しいのでは。

答 発掘調査結果や城絵図等

佐原 充恭 議員 (主な答弁者・・・総務部長)

インターネットによる公金支払システムの導入検討を
―調査研究を進め、効果的な導入を図れるよう努めていく―

問 インターネットによる公金支払システムは、24時間いつでもどこでも支払手続きができる。そのメリット・デメリットは。

答 納税者は利便性が向上するが、納付金額の約1%の手数料負担がある。市は納期内納付の増加や滞納整理事務の削減が期待できるが、高額な改修費や

月々の利用料等が発生する。

新海 真規 議員 (主な答弁者・・・次世代育成部長)

交通児童遊園の駐車場拡充を
―利用可能な土地の情報収集を行い、駐車場の確保に努める―

問 平成26年度の交通児童遊園来場者数はどのくらいか。

答 約133万人で、休日などは1日約1万人の来場がある。

問 不足する駐車場の拡充はどのように考えているか。

答 市宮神田駐車場の利用や日曜日に休館となるひまわりの駐車場を臨時駐車場とするなどの対応をし、合わせて近隣の土地の情報収集を行っている。

問 指定管理を行っている都市施設管理協会についてどのように考えているか。

答 来場者数が多いこと、高齢者を雇用し地域の高齢者雇用

山本 シモ子 議員 (主な答弁者・・・教育部長)

給食センターの調理は直営/自衛隊の職場体験は見直しを
―安全な給食のために合理的な運営を実施/子どもの選択を尊重―

問 第一学校給食センター建設後の調理業務は直営で行い、雇用を守り、子どもたちに安全でおいしい給食を提供すべき。運営の考えは。

答 運営は緊急時に全社的な対応ができるなどのメリットがある民間委託を考えている。

問 軍備強化が進められつつある自衛隊を中学生が職場体験

学習に選ぶことは、戦後教育の柱である「二度と教え子を戦場に送らない」という教師たちの誓いが崩れにされていると考えるがどう認識しているのか。

答 自衛隊が激甚災害の折に災害復旧や人命救助に当たる姿を見て、子どもたちが職場体験学習で選ぶことは、ごく自然なことだと認識している。

野村 武文 議員 (主な答弁者・・・都市整備部長)

刈谷城築城の白紙撤回を求める
―未来を担う子ども達に刈谷への誇りと愛着を育むために必要―

問 亀城公園周辺整備の総事業費65億円の内訳は。

答 歴史博物館建設と刈谷城復元の事業費で、このうち刈谷城復元は平成32年度の完了を目指すとしており、今後の労務単価の上昇や設計が未確定なため、現時点での概算になるが約25億円から30億円と見込んでいる。

問 共産党議員団のアンケート



1日1万人が訪れる交通児童遊園

新村 健治 議員
 ※1 第7期に向けた介護保険制度の大改悪について
 ※2 市職員の賃金など格差是正について
 ※3 社会に蔓延するブラック化の根絶について

山内 智彦 議員
 ※1 行財政運営の基本的な考え方について

加藤 賢次 議員
 1 刈谷の農業の現状と将来について
 2 教育行政方針について
 ※3 高齢運転者の安全対策について

松永 寿 議員
 ※1 平成28年度施政方針について
 ※2 平成28年度教育行政方針について

渡邊 妙美 議員
 1 平成28年度新規事業について
 ※2 刈谷市の子育て支援情報の発信について
 ※3 防犯対策推進事業について

稲垣 雅弘 議員
政策連携とエリアマネジメントによるまちづくりを
 — まちなかマネジメント構想策定を推進 —

問 都市計画マスタープランで依佐美地区、小垣江町北部地区に拡大市街地が計画されているが、これまでどのような調査、検討をしてきたのか。

答 依佐美地区は整備課題や効率的な事業実施について、小垣江町北部は地区の特性を整理した基本構想の検討をしている。また、権利者へのアンケート調査、事業費の算定等の調査をしている。

問 刈谷市駅周辺から亀城公園一帯はどう整備していくのか。

答 策定中の歴史産業文化基本構想と平成28年度にまちなかマネジメント構想を策定する中で、歴史・文化等の刈谷市の情報と魅力の発信拠点づくりを検討していく。

神谷 昌宏 議員
取り組みの深化・充実に努める本市の今後の学校教育は
 — 子ども達の自信につながる自己肯定感と自己有用感を育てていく —

問 平成28年度に教育委員会が力を入れて取り組む点は何か。

答 子ども達は自分に自信を持つことで、自身や他の人を大切にすることが育っていく。生きていくための礎となる自己肯定感と自己有用感を育むことを重点事項と位置づけていく。

問 自分に自信を持てる子どもが増えることを願うが、具体的にはどのように取り組むのか。

答 6中学校の生徒会サミットや児童・生徒会活動等、子ども達が自分の手で企画運営する活動を幅広く取り入れていく。



生徒会サミットの様子

鈴木 浩一 議員
災害に強いまちづくりに向け、密集市街地の課題公表と早期対策を
 — 住民との協働により、様々な施策を検討していく —

問 災害危険度判定調査で、密集市街地の課題が多く見受けられた区域はあったか。

答 課題が比較的多く見受けられた区域は、4区域ある。

問 調査結果を良好させる対策にはどのような施策があるか。

答 課題を改善する施策には、区画整理や再開発などの面的な整備、狭あい道路の解消、木造住宅の耐震化補助、防災空地の確保や防火水槽の設置などがあり、様々な視点から、区域ごとに検討していく必要がある。

問 今後の取り組み、目指す姿は。

答 引き続き住民との協働により、様々な施策の検討を進めながら、防災意識の醸成を促進し、改善が図られるよう努める。

蜂須賀 信明 議員
災害時の医療救護体制と災害拠点病院について
 — 災害時は救護所を開設し、重症患者は災害拠点病院で対応 —

問 大規模地震災害発生時の医療救護所はいつ、どこで開設されるのか。

答 震度6弱以上の地震発生時に、富士松中、かりがね小、刈谷東中、双葉小、小垣江小の各学校に開設され、各救護所に医師10名の他、歯科医師、薬剤師が派遣される。

問 災害拠点病院の内容はどのようなものか。

答 災害医療を行える病院として、県から刈谷豊田総合病院が指定されており、重症患者の受け入れを行う。この病院では災害発生時に一般外来患者の受け入れを行う。



災害拠点となる刈谷豊田総合病院 (震度6以上の地震発生時など)

上田 昌哉 議員
法人市民税の落ち込みなどに応じた事業実施を
 — 必要な事業を計画的に実施していく —

問 法人市民税の26年度の決算額と27年度の見込み額はどれくらいか。

答 26年度の決算額は約74億円で、27年度は3月補正後の予算額が約41億円である。

問 27年度の法人市民税が約30億円も落ち込む理由は何か。

答 26年度の法人市民税が自動車を始め、消費税率変更前の

問 法人市民税の落ち込みにより市の施策への影響はどうか。

答 これまでも財政支出の抑制、基金や市債の活用により対応してきた。引き続き適切に対応し、必要な事業を計画に沿って実施していく。

加藤 峯昭 議員
税制改正に対応する有効な対策を
 — 事業の精査などにより住民サービスの維持拡大を図る —

問 予算編成の基本的な考え方はどのようなものか。

答 税制改正や労務単価増加などの財政状況を踏まえた上で、第7次総合計画や、市の重点事項に関連した施策を推進していく。

問 税制改正等による影響を踏まえて、今後の歳入の見通しをどのように考えているか。

答 地方消費税交付金の増加が見込まれる一方、法人市民税の一部国税化の影響により歳入の大きな増加を見込むことは難しいと考えている。今後は事業の精査やより一層の事務改善を図るとともに、財政調整基金の取り崩しや市債の借入れなどにより、住民サービスの維持拡大を図っていく必要がある。



行政評価委員会による外部評価の様子
 住民サービスの維持拡大を図るためさらなる事業の改善・改革を進める

鈴木 絹男 議員
野田地区に一日も早く市民館の建設を
 — 地区からの要望を踏まえ建設の検討を進める —

問 昨年4月に野田地区が野田地区と東刈谷地区に分割された。分割に伴い新しい野田地区には市民館がない状態であるがどう考えているのか。

答 地区からの要望を十分に踏まえた上で建設を検討する必要があると考えている。

問 建設の基準は。

答 地区住民の合意を得られ

問 野田地区に一日も早く市民館の建設を

答 土地の確保が必要となる。地区とはどこまで話を進めているのか。

問 地区からは建設候補地の選定に向けた具体的な検討を行っているか。

答 建設までに要する期間は、地区から要望書の提出があれば、その日を起点に3年ほどを要すると想定している。



旧野田地区は野田地区・東刈谷地区に (平成27年4月1日より)



野田地区にも市民館を

白土 美恵子 議員
発達障害を持つ児童生徒のために特別支援教育を
 —授業のユニバーサルデザイン化に取り組み—

問 小・中学校の発達障害が心配される児童・生徒の人数は。

答 平成27年度は383人で全校児童生徒の3%である。

問 小・中学校において、発達障害が心配される児童・生徒が増えている。日野市ではユニバーサルデザインを取り入れ、すべての子が共に学べる環境づくりを実施している。導入の考

新村 健治 議員
女性の活躍のために希望に応じた働き方の実現を
 —策定中の特定事業主行動計画に反映させるよう取り組み—

問 非正規職員として一生懸命働いている方の正規採用の門戸を広げる考えはあるか。

答 保育士、幼稚園教諭の臨時職員が正規職員としての採用を希望する場合、採用試験の受験資格を45歳までとし、チャレンジできる環境を整えている。また、今年度実施した採用試験では、専門試験を免除する受験枠を新たに設け、採用の可能性を広げる取り組みを実施した。

問 女性活躍推進法に基づく女性管理職の割合目標をどこに設定しているか。

答 管理職に占める女性比率

山内 智彦 議員
健全な行財政運営を続け、市のさらなる発展のために
 —必要な職員数確保と将来を担う人材の育成を図る—

問 本市のように国から地方交付税が交付されない「不交付団体」は、全国で何%か。また、メリットは何か。

答 平成26年度は約3%。自主財源割合が高いことで、円滑な行財政運営ができるほか、将来を見据えたまちづくりのために自由度が高く様々な独自施策を展開できることが挙げられる。



女性職員の活躍推進に向けた提言書を市長に提出（平成28年3月）

問 住民ニーズの多様化等に伴い膨らみ続ける事務量により、将来を担う人材を育成する環境づくりが疎かになっていないか。

答 事務量の増加に対応するため、必要な職員数の確保に努めているが、増員については、経常経費増に直結することでもあため、慎重に対応しなければならぬと考えている。

加藤 賢次 議員
全国に先駆け、自動ブレーキ搭載車の購入補助を
 —交通事故対策として期待できるため調査研究していく—

問 新聞に高齢者の絡んだ事故がよく掲載されている。本市における75歳以上の運転免許保有状況と自主返納の状況は。

答 保有者は5,011人。自主返納者は65歳以上のデータになるが、220人で返納率は1%前後である。



事故を未然に防ぐ自動ブレーキシステム

問 返納者が増えない要因は。通院や買い物、農作業などで自動車が生活に欠かせない状況になっていると考えられる。

答 高年齢ドライバーの安全を守るため、全国に先駆け、事故を防ぐ効果の高い「自動ブレーキ搭載車」の購入補助を実施してはどうか。

松永 寿 議員
市民の安心安全のため、各種施策の推進を
 —市民福祉の向上のため、新たな施策を展開していく—

問 犯罪の温床となり得る空き家について、放置される前に活用することも視野に入れる必要があると考えるがどうか。

答 空き家対策を住宅施策に位置づけ、跡地の活用に関する取り組みなどを検討・推進する。また、空き家調査とともにデータベースの整備を図っていく。

問 障害者支援の取り組みは。活用できるように検討していく。

渡邊 妙美 議員
市民目線のわかりやすい子育て情報の発信を
 —今後も市民の声を参考に内容の検討を行っていく—

問 ウェブサイト「かりやSmileねっと」の今後の運用をどのように考えているか。

答 講座やイベントなどの最新の情報を提供していくことや、積極的に多くの情報を子育て家庭に配信していくことにより、さらなる充実を図っていききたい。

問 子育て家庭が必要とする情報の提供は、市民の声を直接聞くことも必要だと考えているが、どのように市民の声を聞くのか。

答 今後は子育てコンシェルジュが活動の中で、子育て家庭が必要としている情報を収集するとともに、子育て支援団体や子育てサークルの方にも協力をいただき、子育てガイドブックなどを有効に活用し、市民目線での情報発信に努めたい。

議会トピックス

災害時における議会の対応について研修を実施



議員研修会の様子

策本部とどのように連携を図るのか、さらには、議会が機能を維持し、迅速な意思決定にどのように繋げていくのかなどについてご講義いただき、大変有意義な内容でありました。

議員避難訓練を実施

3月3日、本会議中に地震が発生したことを想定した議員の防災訓練を実施。災害発生から避難までの一連の流れを確認しました。

2月1日、山梨学院大学法学部政治行政学教授の江藤俊昭氏を招き、「災害時における議会の対応」と題し、研修会を開催しました。

南海トラフ地震などの発生が危惧されている本市では、市民と行政、また、地域の議員である議員が協働で、防災・減災対策を推進し、危機管理体制を構築していく必要があります。

講演では約2時間にわたり、災害時に議員がどのような役割を担うのか、また、地域の議員である議員が市の災害対応にどのように貢献できるかを話し合いました。



訓練の様子

編集後記
かけはし

◆新緑が鮮やかに映え、バラやさつばたが楽しめる季節となりました。市内を散策し、新しい発見をされてはいかがでしょうか。身近な公園の整備や防災・防犯対策などの各種施策に、皆様の声を反映させることで、さらに安心・快適なまちづくりを推進して参ります。

◆法人市民税の一部国税化の影響により、本市は今年度約8億円の減収となる見込みです。また、来年度以降も歳入の大きな増加を見込みます。

(議会広報委員会)